



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
URL: <http://www.mokusankyo.jp>
E-mail: yamawood@mokusankyo.com

目次

1. 県人事異動内示!!
2. 公共建築物木造率全国1位!!
3. 県住宅支援制度について!!
4. 新型コロナウイルス感染症関係!!
5. 春の緑の募金キャンペーン始まる!!
6. 外構部の木質化支援事業について!!



1 県人事異動内示! 令和2年度木材関係担当者等一覧

3月19日県職員の定例人事異動が内示され、下記の新体制が決まった。

農林水産部長 高橋雅史 (前次長)、参事 (兼) 森林ノミクス推進課長 齋藤潔

・森林ノミクス推進課 【木材担当Tel023-630-2525、2526、2527】

土屋隆一 林業振興主幹、福井克 森林整備・再造林推進主幹、伊藤信 森林保全主幹、笠井俊哉 副主幹、丹野真人 課長補佐 (木材産業振興担当)、荒木龍平 木材産業振興主査、若木央 主査 (木材産業振興担当)、高野日和 技師、山岸明寛 技師

・村山総合支庁 【木材担当Tel023-621-8283、8284、8191】

石川浩 森林整備課長、横倉肇 森づくり推進室長、森川東太 課長補佐 (林政企画担当)、齋藤朱美 西山杉ブランド化主査、佐藤和恵 主査、高橋悠 技師

・置賜総合支庁 【木材担当Tel0238-26-6063】

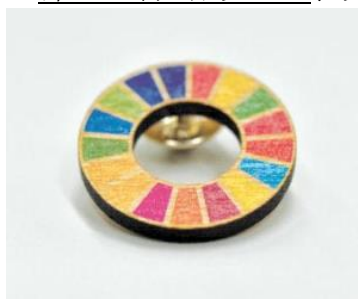
渡邊潔 森林整備課長、片桐政和 森づくり推進室長、佐藤典生 課長補佐 (林政企画担当)、深瀬雅和 林政主査、松木利夫 技師

・最上総合支庁 【木材担当Tel0233-29-1349、1347、1351】

堀米英明 森林整備課長 (兼) 森づくり推進室長、布施明彦 林業・木材産業振興室長、井上一彦 課長補佐 (林政企画担当) (兼) 室長補佐 (木材流通対策担当)、増川栄一 木材流通対策主査

・庄内総合支庁 【木材担当Tel0235-66-5526、5527】

梅津一寿 森林整備課長、小関秀章 森づくり推進室長、志藤彰 課長補佐 (林政企画担当)、澤口宜将 林政主査、芳賀高之 林産振興主査



・森林研究研修センター 【木材担当Tel0237-84-4301】

鈴木立男 所長、大築和彦 研究主幹、伊藤聡 木材・林業経営主幹、渡部公一 森林資源利用部長

・農政企画課専門職大学推進室 【木材担当Tel023-630-2222】

坂本幸雄 専門職大推進室室長補佐

・みどり自然課 【木材担当Tel023-630-2209、2207、2206】

石山清和 みどり自然課長、菅原隆志 みどり県民活動推進主幹、

県産木材利用 SDGs バッチ

・建築住宅課 【木材担当Tel023-630-2642、2657、2637】

櫻井信 建築住宅課長、佐藤泰宏 建築行政主幹、外塚恵一 住宅対策主幹

・農林大学校 【木材担当Tel0233-22-1528】

吉崎明 教授、尾形俊成 教授、倉本幸輝 准教授、後藤徹 主任指導員

今年の目玉人事は、齋藤参事、布施室長、片桐室長の昇格、坂本補佐の農企復活に尽きる。

2 平成30年度公共建築物の木造率、本県全国1位!!

3月18日林野庁の発表によれば、平成30年度に着工された公共建築物の木造率は13.1%で概ね前年と同水準となりました。また、低層（3階建て以下）の公共建築物も26.5%でほぼ前年同水準となりました。注目すべきは都道府県別木造率で、公共建築物全体で山形県が1位（31.4%）となり、21県で上昇している。また、低層公共建築物でも山形県が1位となり、22県で上昇している。W受賞は初めてのことである。ここでいう公共建築物は、国・県・市町村が建築するすべての建築物のほか、民間事業者が建築する教育施設・医療・福祉施設等の建築物をいう。やまがた森林ノミクスの成果が出始めていると考えられる。

3 令和2年度住宅支援制度について!!

4月2日から令和2年度「山形の家づくり利子補給制度」の受付が各総合支庁建築課でスタートします。県産木材多用型を含め募集方法が変更になりました。募集期間が3回に分けられ、1回目が募集期間4/2(木)～4/8(水) 募集戸数100戸で応募数が多い場合は抽選とします。応募数が募集戸数に満たなかった場合は、募集を継続し、先着順で受け付けます。2回目が5/18(月)～5/22(金)で40戸、3回目が7/6(月)～7/10(金)で40戸の募集となります。また、同時に住宅リフォーム総合支援事業も始まります。拡充支援として、寒さ対策・断熱化（ヒートショック対策）を図る工事が追加されました。ちなみに県産木材多用タイプは10%・上限30万円で、市町村によっては県補助金への上乗せがあります。詳細は、県土整備部建築住宅課や総合支庁建築課、タテッカーナの情報サイトでご確認ください。

令和2年度

山形の家づくり 利子補給制度

山形県への移住を考えている方へ / 地元の木で住宅を新築したい方へ / 空き家住宅を建てたい方へ / 建かへに、住みやすい住宅にしたい方へ / 三世帯同居・近隣を考えている方へ

山形県では、住宅ローンの利子の一部を県が負担することで、耐久性のある県産木材を使用した省エネルギー住宅の建設を応援しています。

ポイント

- ・「移住世帯」の対象を拡大しました。
5年前（平成27年4月1日以前）に移住された方まで対象を拡大しました。
- ・募集方法を見直しました。
募集期間を3回に分け、応募数が募集戸数を超えた場合は抽選（※）とします。

募集方法・募集期間	1回目	2回目	3回目
対象住宅・募集戸数	100戸	40戸	40戸
募集期間（※）	4月2日～4月8日	5月18日～5月22日	7月6日～7月10日
募集予定日（※）	4月10日	5月27日	7月15日

山形県

令和2年度 山形県

住宅リフォーム 総合支援事業

今年度は
三世帯世帯
の方への支援
を拡充しました

第二利用の条件
○自ら所有し、自ら居住する住宅 または「空き家を購入または相続・贈与で取得して居住する住宅」であること
○山形県内に住所を有する個人事業者または山形県内に本店または主たる事業所を有する法人事業者が工事を施工すること
※ご利用上の注意
○申込みが多数に達した場合に年度途中で終了することがあります。

山形県

山火事予防普及啓発ポスター

守りたい 森と未来を 炎から

山火事予防

山火事予防運動実施中
主催：林野庁・消防庁

4 新型コロナウイルス感染症関係について!!

感染症対策として、木産協ホームページ新着情報 3/19 掲載の林野庁ガイドラインを参考に感染拡大防止に努めてください。感染症で影響を受ける事業者への支援策（信用保証や無利子の融資等）は、木産協ホームページ新着情報 3/16 掲載の全木連からのお知らせを参考にしてください。その他、県商工業振興資金（地域経済対策変動資金）の無利子の融資があります。詳細は県ホームページ中小企業振興課で確認してください。

5 春の緑の募金キャンペーン始まる!!

公益財団法人山形県みどり推進機構より春の緑の募金(4/1~5/31)の協力依頼があり、木産協たよりに同封しましたのでご協力をお願いします。緑の募金は身近な環境緑化から、森林の整備、緑の普及啓発活動、森林環境教育など、様々な緑化活動に役立てられています。なお、会社等法人が当財団に寄付されたときは、寄付金として一般の寄付金に加えて別枠で損金算入することができます。詳細は税務署・市町村窓口にお問合せください。



6 令和2年度外構部の木質化支援事業(木塀)について!!

今年度外構部の木質化支援事業(通称:木塀事業)につきましては、全木協主催の地区事業説明会が開催されていません。オープンなり次第HP等でお知らせいたします。

7 4月以降の行事予定(新型コロナウイルス感染症のため、変更が予想されます)

日程	行事名	予定出席者
4. 3	県庁等三役挨拶回り (山形市 県庁等)	理事長他
4. 15	山火事防止キャラバン(置賜) (米沢市 置総)	素材部会
4. 16	山火事防止キャラバン(村山) (山形市 村総)	素材部会
4. 20	素材生産部会総会 (山形市 未定)	副理事長他
4. 22	木産協理事会 (山形市 メトロ)	理事長他
4. 24	森林協会理事会 (山形市 あこや)	理事長
5. 21	木産協総会予定日 (山形市 メトロ)	理事長等

8 日本百名山シリーズ紹介 (悪沢岳:東岳)

日本第6位の標高(3,141m:槍ヶ岳の次)を誇り、南アルプスを代表する赤石岳と並ぶ荒川三山の主峰である。今はヒガンダケと呼ばれているようだが、標柱も昔ながらのワルサワダケで名前のイメージは良くない。南アルプスの中央部に位置しアクセスも大変で登山者も少なく、ゆったりと静かに登れる山だ。静岡市内から約3時間の樫島登山口から、急な斜面は少なく比較的なだらかな尾根道を長く登っていくときれいな千枚小屋にたどり着く。おい



しい夕食と満天の星

とビールで疲れを取り、翌朝西側の赤石岳のモルゲンと東側の富士山を眺めながらの山頂アタックとなる。山頂からはもちろん360度の絶景であるが、北岳・間ノ岳・塩見岳の北部方面が大迫力である。山頂周辺も岩場で注意が必要だが、中岳に向かう岩稜降りが今回の最大の危険箇所である。ほぼ真下に降下するルートが続くが、中岳・前岳を過ぎると南アルプス最大のお花畑が斜面いっぱい広がっています。今回登山のハイライトです。

9 県からのお知らせ 松くい虫被害材の移動禁止命令について

◆なぜ被害材を移動禁止しなければならないの？

「松枯れ」は、「マツノザイセンチュウ」が松の中に入り込むことによって、松が赤く枯れてしまう病気です。このマツノザイセンチュウを他の木に運んでいるのは「マツノマダラカミキリ」です。

マツノマダラカミキリは枯れた松に産卵し、翌年の6月下旬まで幼虫の状態で樹の中で生活します。その後、成虫となり、マツノザイセンチュウとともに外の木に移動します。

マツノマダラカミキリの幼虫が中にいるまま松材を移動させた場合、広範囲に松枯れの被害を引き起こすことから、駆除されていない材の移動を禁止するものです。



◆松くい被害材の駆除の方法は？

- ・伐倒し、破碎もしくは焼却もしくは炭にする。
- ・伐倒し、材にくん蒸薬剤（商品名：NCS、キルパー40）をかけてシートで覆い、くん蒸する。



◆特別伐倒駆除とは？

松くい虫等が付着している樹木の伐倒及び破碎（農林水産省令で定める基準に従い行うものに限る）又は樹木の伐倒及び焼却（炭化を含む）する事です。（森林病虫害等防除法第2条第6項）

※農林水産省令に定める破碎の基準

破碎後の木片の厚さが6mm以下（木材チップパーにより破碎する場合にあっては15mm以下）
（森林病虫害等防除法施行規則第1条）

◆松くい被害材を薪等で利用するため移動することができますか？

移動することは可能ですが、マツノマダラカミキリが成虫となる6月10日頃までに全て焼却することが条件となります。なお、マツノマダラカミキリは幹だけでなく直径2cmの枝にも多く存在するため、枝も全て焼却する必要があります。

◆松くい被害材はどの程度移動させることができるの？

特別伐倒駆除（破碎、焼却）を行うための運搬※を除き、駆除されていない被害材（枝を含む）は絶対に移動させてはいけません。

※特別伐倒駆除を行うための移動であっても、県内（できれば総合支庁単位）としてください。

10 全国木材組合連合会のお知らせ(JAS 構造材利用拡大事業)

令和2年3月31日から、JAS構造材利用拡大事業の令和2年度版がスタートし、全木連ホームページが閲覧可能になります。今年度から、新たに県市町村施設も該当になるなど、使いやすい事業に変更されています。ぜひ、ご活用ください。

令和2年度 JAS 構造材利用拡大事業

	令和2年度		令和元年度
1・JAS 構造材の定義拡大	①	機械等級区分構造用製材(機械等級製材)	
	②	枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用縦継ぎ材(2×4製材)	
	③	直交集成板(CLT)	
	④	中断面以上の構造用集成材(長辺150mm以上、短辺75mm以上)	対象外
	⑤	構造用単板積層材(LVL)	対象外
	見直し	目視等級区分構造用製材は乾燥材のみ	未乾燥も対象
2・対象物件拡大	①	施主が国でない建築物(県市町村は対象)	国県市町村は対象外
	②	戸建て住宅を除く建築物(集合住宅は対象)	住宅は対象外
	③	4階以上であれば、戸建て住宅も対象	全ての戸建て住宅は対象外
3・助成額の算出方法の変更	計算方法を材積×立米単価に変更		計算方法は面積×㎡単価
	①	JAS 機械等級製材、2×4製材、集成材(中断面以上)、LVL	
		50,000 円/㎡	
		JAS 構造材を構造用にした階を上から数えて4以上の階からは100,000 円/㎡	
	②	JAS CLT の単価は階にかかわらず140,000 円/㎡	
4・その他林産物 JAS の助成対象量の変更	機械等級区分構造用製材を利用した助成量の上限増		
	①	JAS 機械等級製材、目視等級製材の使用量50%	20%
	②	その他の JAS 構造材は100%	100%

事業申請提出期限 令和2年6月30日、補助金交付申請提出期限 令和2年8月31日

11 住宅着工状況

令和2年2月期の県内新設住宅着工戸数は425戸となり、対前月比193.2%、対前年同月比111.8%、前年累計比は107.0%となった。
地域別では山形市、鶴岡市、酒田市、寒河江市が伸びている。木造率は82.8%。来月以降はコロナ感染症による影響が懸念される。

1 県内新設住宅着工戸数(令和2年2月)

(単位:戸)

年 月	総 数	利用関係別				資金別		木 造 住 宅		木 造 内 訳		
		持 家	貸 家	給与住宅	分譲住宅	民 間	その他	戸 数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
22年	4,125	2,533	1,140	40	412	3,777	348	3,319	80.5%	2,479	112	728
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
30年	6,362	3,160	2,322	25	855	6,039	323	5,015	78.8%	3,367	128	1,520
31年	5,755	2,776	1,907	27	1,045	5,686	69	4,697	81.6%	3,358	110	1,229
31.1月	223	128	37	1	57	220	3	199	89.2%	163	7	29
2月	380	176	132	0	72	379	1	352	92.6%	208	10	134
3月	514	263	142	2	107	513	1	442	86.0%	315	6	121
4月	505	324	133	1	47	502	3	421	83.4%	321	8	92
5月	555	254	246	3	52	551	4	410	73.9%	282	6	122
6月	794	353	187	2	252	785	9	505	63.6%	367	23	115
7月	457	227	167	13	50	454	3	377	82.5%	289	3	85
8月	503	210	220	2	71	484	19	401	79.7%	276	9	116
9月	533	235	187	1	110	523	10	453	85.0%	273	11	169
10月	368	167	141	0	60	358	10	313	85.1%	224	8	81
11月	480	223	196	2	59	479	1	438	91.3%	348	11	79
12月	443	216	119	0	108	438	5	386	87.1%	292	8	86
02.1月	220	105	66	0	49	219	1	191	86.8%	143	5	43
02.2月	425	209	158	1	57	424	1	352	82.8%	204	13	135
対 前 月 比	193.2%	199.0%	239.4%	-	116.3%	193.6%	100.0%	184.3%	-	142.7%	260.0%	314.0%
対前年同月比	111.8%	118.8%	119.7%	-	79.2%	111.9%	100.0%	100.0%	-	98.1%	130.0%	100.7%
31.1～当月計	603	304	169	1	129	599	4	551	91.4%	371	17	163
02.1～当月計	645	314	224	1	106	643	2	543	84.2%	347	18	178
対累計前年比	107.0%	103.3%	132.5%	100.0%	82.2%	107.3%	50.0%	98.5%	-	93.5%	105.9%	109.2%

2 地域別新設住宅着工戸数(令和2年2月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累 計	前年比	累計比	木造累計
県 計	425	645	111.8%	107.0%	543
山 形 市	173	241	136.2%	112.1%	192
上 山 市	4	5	30.8%	29.4%	4
天 童 市	34	73	72.3%	88.0%	54
山 辺 町	1	1	50.0%	20.0%	1
中 山 町	0	0	0.0%	0.0%	0
東南村山	212	320	111.6%	98.5%	251
寒河江市	13	18	325.0%	150.0%	17
河 北 町	3	19	300.0%	475.0%	19
西 川 町	0	0	-	-	0
朝 日 町	1	3	-	-	2
大 江 町	4	4	-	400.0%	4
西 村 山	21	44	420.0%	258.8%	42
村 山 市	5	7	23.8%	29.2%	6
東 根 市	32	56	80.0%	114.3%	45
尾花沢市	3	3	-	-	3
大石田町	0	0	-	-	0
北 村 山	40	66	65.6%	90.4%	54
村山地域	273	430	106.6%	103.6%	347
新 庄 市	4	7	30.8%	43.8%	7
金 山 町	0	0	-	-	0
最 上 町	1	1	-	-	1
舟 形 町	0	0	-	-	0
真室川町	0	0	-	-	0

市町村	着工数	累 計	前年比	累計比	木造累計
大 蔵 村	0	0	-	-	0
鮭 川 村	1	1	-	-	1
戸 沢 村	0	0	-	-	0
最上地域	6	9	46.2%	56.3%	9
米 沢 市	15	19	75.0%	61.3%	13
南 陽 市	1	9	20.0%	81.8%	9
高 畠 町	2	4	50.0%	28.6%	3
川 西 町	1	1	9.1%	8.3%	1
東南置賜	19	33	47.5%	48.5%	26
長 井 市	4	13	80.0%	216.7%	13
小 国 町	0	0	-	-	0
白 鷹 町	1	2	-	-	2
飯 豊 町	1	1	100.0%	100.0%	1
西 置 賜	6	16	100.0%	228.6%	16
置賜地域	25	49	54.3%	65.3%	42
鶴 岡 市	60	84	214.3%	178.7%	82
三 川 町	2	3	25.0%	33.3%	3
庄 内 町	5	6	250.0%	120.0%	6
田 川	67	93	176.3%	152.5%	91
酒 田 市	51	61	196.2%	174.3%	52
遊 佐 町	3	3	300.0%	300.0%	2
飽 海	54	64	200.0%	177.8%	54
庄内地域	121	157	186.2%	161.9%	145

注:累計は令和2年1月～